

タイトル 城北 PTA の活動報告と新たな取組について

講演者 堀 正一

学校名 小田原城北工業高等学校 P T A

講演テーマまたは研究テーマ 「役員選出の方法の変更とアンケートからの改善」

1 はじめに

本校の PTA の取組を知っていただき、各校の PTA 活動の今後の活動の参考にしていただければ幸いです。

2 学校紹介

本校は、創立から 60 年以上の歴史と伝統を有する城北工業高校の校舎の窓からは、霊峰富士、足柄平野、箱根丹沢の山塊、穏やかな酒匂川が望めます。この雄大な自然環境のもと教育活動が展開されています。①スペシャリストの育成、②地域社会との連携・協働、③生徒の成長を支援 の城北工高の 3 つのミッション遂行ためには先生方のご指導はもちろんのこと、PTA や地域の方々からの協力も必要不可欠となっております。城北工高は、全日制は、機械、建設、電気、デザインの 4 科、定時制は、機械、電気の 2 科の設置形態のもと教育活動を展開しており、それぞれの科は専門性の高いカリキュラムで生徒たちの能力・技術力の向上に力を入れています。令和 8 年度に小田原城北工業高校と大井高校は、再編・統合をします。

3 城北 PTA の活動

本校 PTA は本部の他に次の委員会で組織し、活動をしています。

広報委員会、環境整備委員会、生活指導委員会、成人教育委員会、学年委員会、

4 PTA 役員募集の新たな取組

PTA 役員の選出は、従来合格者資料に PTA の案内及び役員希望調査を配付し、入学者手続きの日に調査票を回収していました。ところが、役員希望に○を付ける人が少ないことや、委員会ごとに偏りがあることが課題でした。次に調査票を元に委員希望者に電話をかけますが、校内の電話が

少ないことや、電話をかけても不在が多いなど非効率かつ負担が大きいことが課題でした。また、電話での依頼では充足しないので、再度の勧誘をし、最終的には入学式で長い時間をかけて再募集せざるを得なく、入学式の雰囲気壊れてしまう懸念の声が多くありました。

そうした課題の改善として、依頼方法を郵送にしました。調査票の文面には、「希望を元に出しますが、必要な人数に満たない場合は、調査票の情報をもとに出し、郵送にて依頼状を送付します。」と記載し、依頼状の文面には「引き受けることが難しい場合は、お電話にて PTA 担当までご連絡いただけますようお願い申し上げます。」と記載ことにしました。

この結果、役員の電話確認の負担がなくなりました。また、41 名に調査票を元に依頼状を送ったところ、5 名からはお断りの電話をもらったものの 36 名の方に引き受けていただくことができました。アンケートでも、郵送と電話どちらがよいか問うと、郵送が 73%、個別電話が 17%、わからないと」の回答が 10%と、郵送が好評でした。

その他、役員の多忙感などのアンケートを実施したことで、PTA 活動について多様な意見があることがわかり、役員募集以外にも、今後の活動の方向性の参考になるような貴重な意見がありました。今後アンケートの結果を活用し、会員が満足する PTA 活動を模索していきたいと思えます。

5 謝辞

今回、発表を通じて PTA 活動を見直すことができました。発表の機会をくださった関係の皆様、発表のご支援を頂いた小田原城北工業高校の先生方に感謝申し上げます。